

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 4 月 27 日

事業所名 さんSUNアフタースクール泉大津

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	基準以上のスペースを確保し、子供達が快適に、安全に過ごせるように配慮しています。	スペースを有意義に使った療育が出来る様に工夫していきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切である	67%	33%		常勤：管理者・児発管（兼務）1名・保育士2名 児童指導員1名 非常勤：保育士1名・児童員1名・運転士1名が在籍。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	67%	33%	事業所が二階にある為、階段には両側に手すりを設置していますが、室内には段差がなくバリアフリー化されています。職員が階段の上り下りを見守り、声掛けをして、より安全に配慮しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	ミーティング・職員間の申し送りノートや連絡帳等で日々の情報を共有しています。	職員会議や毎日のミーティングで情報共有をしっかりと目標達成できる様に療育の質を高めていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		自己評価結果を全職員で共有して、改善点等を話し合い業務に繋げていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		ホームページで公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		現在は、保護者様と社内の評価のみで実施していませんが必要に応じて第三者による外部調査を検討したいと思います。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	今年度よりスマホやタブレットを用いた研修も受講しています。	内部の研修以外にも外部の研修も積極的に参加していきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	2ヶ月毎に簡単なモニタリングを作成しています。支援計画作成の面談時にニーズと課題になる点と発達検査の結果等を考慮して作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	年間計画を元に毎月の行事・日々のプログラムを会議にて決めていきます。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		継続する事で習得出来る事は、同じ効果がある物に変更したりしてマンネリ化にならない様にしていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	休日や長期休暇は、公共機関・商業施設等を利用して社会性の構築・体験活動等を行っています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個別課題・集団活動時の課題を職員間で共有している。	個別課題・集団活動時の課題の両方の視点から行っているが計画書に反映していきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎朝のミーティングで前日の情報共有や当日の支援内容の確認をしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	17%	常勤以外は、送迎後帰宅するため振り返りに参加できませんが、引継ぎノートで翌日確認しています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	子ども達の様子を業務日誌に記録しています。	記録を元に支援の検証・改善に繋がっていききたいと思います。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	2ヶ月毎に簡単なモニタリングを作成しています。	達成状況に応じて計画書の見直しを検討していきます。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%		ガイドラインを意識して実施しています。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		コロナも落ち着いてきているので児発管と児童指導員の複数人で参加します。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	83%	17%	学校から行事予定を頂いたり、各学校のHP等で確認しています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		必要な時には、主治医との連絡体制を整えたいと思います。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	83%	17%		必要に応じて就学前の情報を取得して支援計画に反映していきたいです。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	83%	17%		まだ、障がい福祉サービス事業所等へ移行する経験がないので、情報提供を行えるようにしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	83%	17%	専門機関が開催する研修には積極的に参加し、職員のスキルアップに努めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	83%	17%		外出時の公共の場でも障がいのない子ども達と関わったり、現在の利用児が地域の学校に通われているので必要に応じて検討していきたいと思います。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	83%	17%	泉大津放課後連絡会に参加し、情報共有や支援の向上に向けた話し合いに参加しています。	現在、自立支援協議会等の参加は、ありませんが機会があれば参加したいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	お子さんの日々の様子は連絡ノートを活用すると共に送迎の際にも口頭で伝えさせて頂いています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	33%	具体的なペアレント・トレーニングは行っていませんが、支援の中で気づいたことを保護者様と共有したり、困りごとにアドバイスを行ったりしております。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		契約時に説明をしています。質問等があれば随時行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	具体的なペアレント・トレーニングは行っていませんが、支援の中で気づいたことを保護者様と共有したり、困りごとにアドバイスを行ったりしております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17%	83%		コロナ過であったので、今後の開催するか検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		苦情では、ありませんが質問や心配等は、お話を聴かせてもらい説明させて頂いています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83%	17%		2ヶ月毎に利用の様子をモニタリング報告書として発行しています。またFacebook・Instagramでも様子を見て頂ける様発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報保護については、同意書を取り交わすなど、書類管理を徹底してその保持に努めています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	個々に合わせた伝達方法で情報提供に努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17%	83%		コロナ過でもあり実施していないので、今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	83%	17%		各種マニュアルは策定して職員間では周知しているが、保護者への周知が十分とは言えないので、いつでも見て頂けるように準備していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	83%	17%	消防署にご協力頂き、年に一度消火訓練を実施しています。防災センターで津波時の避難や地震の体験等もしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止マニュアルは作成しておりますが、R4年度よりスマホやタブレットでの研修も行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		必要な時は、事前に保護者の承諾を得て個別支援計画にも記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	83%	17%		重度の食物アレルギーがあるの利用児が居ませんが、個々のアレルギーを職員間で把握し、クッキング時等適切に対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有し、再発・事故防止に努めています。	